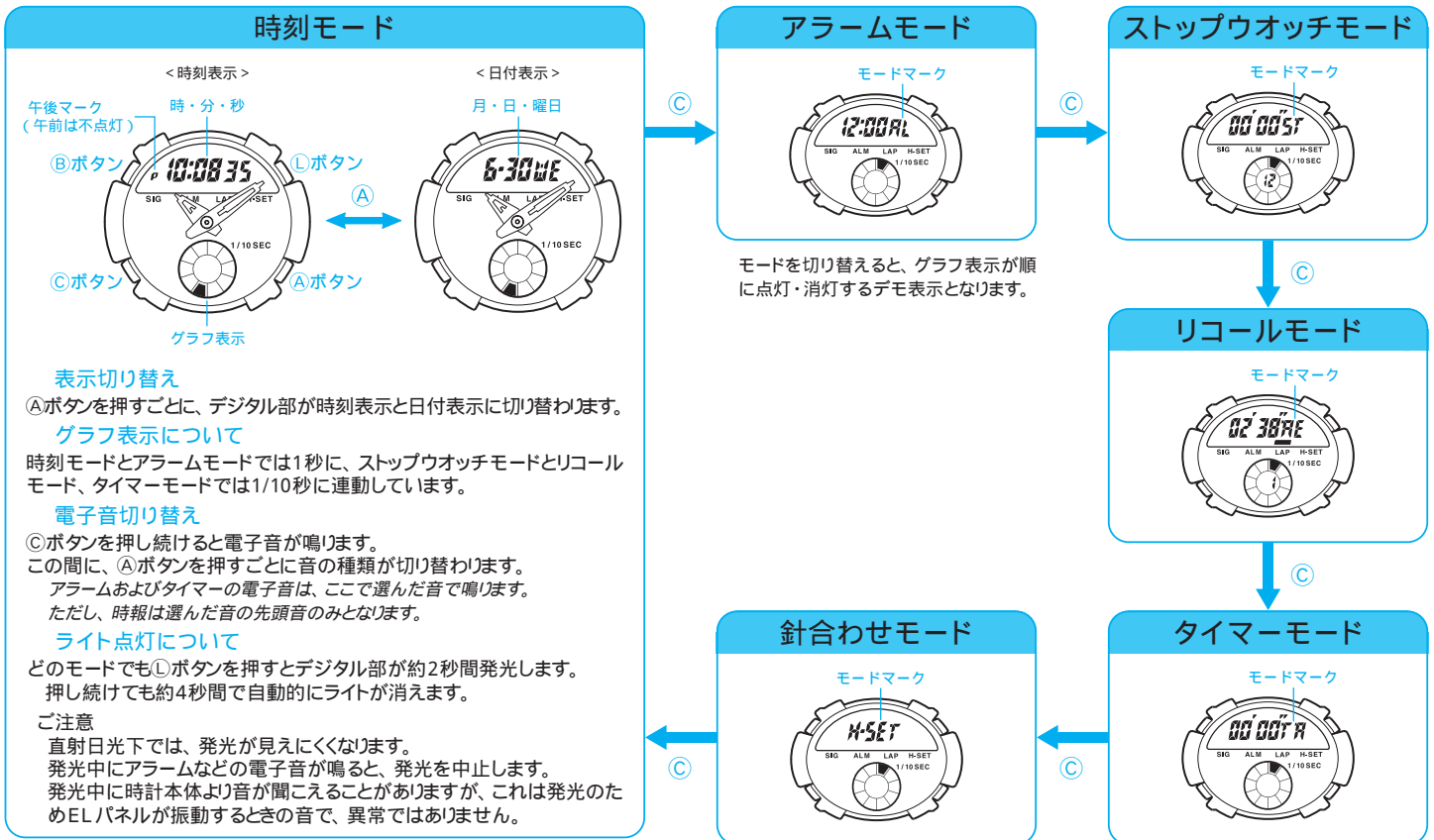


## 操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに、以下の順で表示が切り替わります。  
ストップウォッチモード以外でボタン操作をした後、◎ボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。



## 時刻・カレンダーの合わせ方 デジタル部の時刻とアナログ針部の時刻を同時に修正するときは、デジタル部の時刻を先に修正してください。

### デジタル部の合わせ方

準備：時刻モードにします。

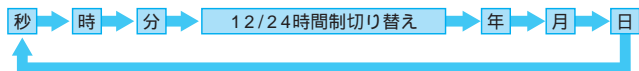
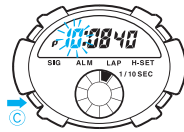
#### 1 セット状態にする

- ◎ボタンを約2秒間押し続けます  
「秒」が点滅します。



#### 2 修正箇所を選ぶ

- ◎ボタンを押します  
◎ボタンを押すごとに以下の順に点滅箇所が切り替わります。  
点滅箇所が修正できます。



#### 3 修正する

- ①または②ボタンを押します  
①ボタンまたは②ボタンは、修正箇所により以下のように働きます。  
秒 ..... ①ボタンで秒合わせ  
秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00」秒になります。  
時・分・年・月・日 ..... ①ボタンで+1  
②ボタンで-1  
押し続けると早く進みます。  
12/24時間制切り替え ..... ①ボタンで切り替え



時の修正のとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。  
 年は1995~2039年までセットできます。  
 曜日は年・月・日を合わせれば、自動的にセットされます。

#### 4 セットを終わる

- ◎ボタンを押します  
点滅が止まります。

### アナログ針部の合わせ方

本機のアナログ時刻は、デジタル時刻に連動しています。もし、アナログ時刻とデジタル時刻が合っていないときは、以下の順でアナログ時刻を合わせてください。

準備：◎ボタンを押して針合わせモードにします。

#### 1 セット状態にする

- ◎ボタンを約2秒間押し続けます  
デジタル部の時刻が点滅します。



#### 2 針を合わせる

- ①ボタンを押します  
①ボタンを押すごとに1/3分(20秒)進みます。押し続けると早く進みます。針はデジタル時刻の「分」の値に合わせてください。秒については自動的に修正されます。



#### 3 セットを終わる

- ◎ボタンを押します  
点滅が止まります。  
時刻モードに戻すには、◎ボタンを押します。

デジタル部のカレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。デジタル部を点滅表示のまま約2分間ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。アナログ針部のセットで針合わせモードのまま約2分間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

## ストップウォッチの使い方

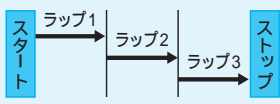
計測と区間距離のセットは、ストップウォッチモードで行ないます。

### ラップ計測 / ラップメモリー

ストップウォッチ機能は1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測できます。また、ラップ計測ができ、最大20本までラップタイムをメモリーします。記憶したラップタイムはリコールモードで見ることができます。計測時間がこの計測範囲を越えると、以後0に戻って計測を続けます。

ラップタイムとは

陸上、モータースポーツなどの周回競技での1周あたりのタイムなど、任意の区間を進むのに要する時間のことです。



### ラップごとの時速計算

ラップタイムと区間距離から1周ごとの平均時速を算出し、リコールモードで表示します。

正しい時速を算出するために、あらかじめ区間距離をセットしてください。

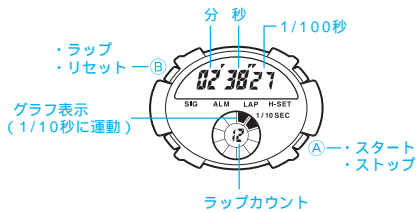
### 計測のしかた

①ボタンを押すごとに計測がスタート / ストップします。

計測中に②ボタンを押すとラップタイムを約7秒間表示し、ラップカウントも表示します。

ラップタイムをメモリーします。

計測がストップしているときに③ボタンを押すと、リセットされます。



### 通常の計測



積算計測... ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに①ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

### ラップタイム計測



計測中に③ボタンを押してリコールモードに切り替え、メモリーしたラップタイムを見ることができます。

### ラップタイムのメモリーについて

ラップタイムは最大20本までメモリーでき、20本を超えると1ラップのタイムを消去して、新たなラップタイムをメモリーします。

表示は1ラップになります。

メモリータイミングは計測中に③ボタンを押してラップ計測したときです。メモリーしたデータは、ストップウォッチモードでリセット後、新規計測をスタートしたときに消去されます。

### メモリーしたデータの消去

メモリーリコールモードで③ボタンを約2秒間押し続けます。



### 区間距離をセットする

時速表示を算出するために、あらかじめ区間距離(周回距離での1周あたりの距離)をセットしておきます。

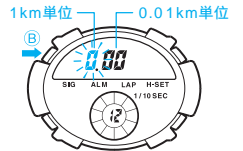
入力範囲: 0.00 - 99.99km, 入力単位: 0.01km

区間距離のセットは、ストップウォッチの計測がリセット状態のときのみできます。計測中は、必ずリセット(ストップ後③ボタンを押す)してから行ってください。

#### 1 セット状態にする

②ボタンを約2秒間押し続けます

1km単位が点滅します。



#### 2 セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

③ボタンを押すごとに1km単位と0.01km単位の入力箇所(点滅箇所)が切り替わります。点滅箇所が入力できます。



#### 3 セットする

①または④ボタンを押します

①ボタンを押すごとに1つつ進み、④ボタンを押すごとに1つつ戻ります。押し続けると早く進みます。



#### 4 セットを終わる

②ボタンを押します

点滅が止まります。

### メモリーしたデータを見る

メモリーしたデータはリコールモードで見ます。

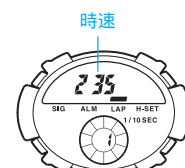


①ボタンを押すごとに、ラップタイムを順に表示します。

約2秒後



1秒ごと



区間距離をセットしているときは、1秒ごとにラップタイムと時速が切り替わります。

速度の計算結果が999を越えたときは、"Err"と表示します。

### グラフ表示

グラフ表示はメモリーデータの1/10秒を示します。

## アラーム・時報の使い方

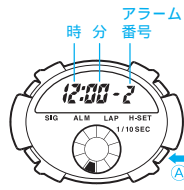
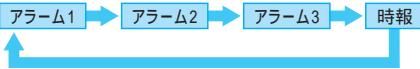
アラームは3本内蔵されています。それぞれ分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報をならすこともできます。

### アラーム時刻のセット / アラームON/OFF

#### 1 アラーム番号を選ぶ

① ボタンを押します

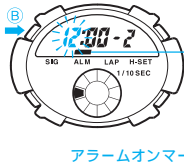
① ボタンを押すごとに以下の順で切り替わりますので、セットしたい番号を選びます。



#### 2 セット状態にする

② ボタンを約2秒間押し続けます

「時」が点滅します。  
アラームオンマークが点灯します。



#### 3 セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

③ ボタンを押すごとに下記の順で入力箇所(点滅箇所)が切り替わります。  
点滅箇所が入力できます。



#### 4 セットする

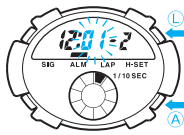
④ または⑤ ボタンを押します

④ ボタンまたは⑤ ボタンは、修正箇所により以下のように働きます。

時・分 ..... ④ ボタンで +1  
⑤ ボタンで -1

押し続けると早く進みます。

オン / オフ切り替え ..... ④ ボタンで切り替え



時のセットのとき、午前 / 午後 (P)、24時間制にご注意ください。  
デジタル時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

#### 5 セットを終わる

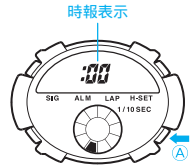
⑥ ボタンを押します

点滅が止まります。

### 時報のオン / オフ

#### 1 時報表示を選ぶ

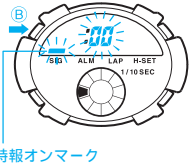
① ボタンを押します



#### 2 セット状態にする

② ボタンを約2秒間押し続けます

「00」と時報オンマークが点滅します。



#### 3 オン / オフを切り替える

③ ボタンを押します

③ ボタンを押すごとにオンとオフが切り替わります。  
時報オンマークが点滅しているときにオンです。



#### 4 セットを終わる

④ ボタンを押します

点滅が止まります。

### 鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときにいずれかのボタンを押します。

### モニターアラーム

どのモードのときでも、③ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

### 電子音切り替え

③ ボタンを押し続けてモニターアラームが鳴っているときに、④ ボタンを押すごとに音の種類が切り替わります。

アラームおよびタイマーの電子音は、ここで選んだ音で鳴ります。  
ただし、時報は選んだ音の先頭音のみとなります。

アラームはデジタル時刻に合わせて鳴ります。

アラームモードのグラフ表示は、現在時刻の秒に連動しています。  
点滅表示のまま約2分間ボタン操作を行わないと、自動的に点滅が止まります。  
アラームモードのまま約2分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。

## タイマーの使い方

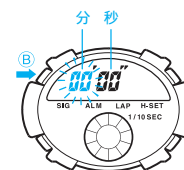
タイマーは、1秒単位で59分59秒(60分)まで減算計測を行いません。残り時間が0になると、10秒間の電子音が鳴ります。

### タイマー時間のセット

#### 1 セット状態にする

① ボタンを約2秒間押し続けます

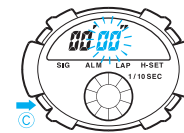
「分」が点滅します。



#### 2 セット箇所を選ぶ

② ボタンを押します

② ボタンを押すごとに入力箇所(点滅箇所)が「分」と「秒」を移動します。  
点滅箇所が入力できます。



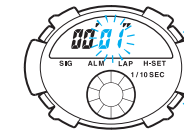
#### 3 セットする

③ または④ ボタンを押します

③ ボタンを押すごとに1つずつ進み、④ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

押し続けると早く進みます。

60分は00'00"とセットします。



#### 4 セットを終わる

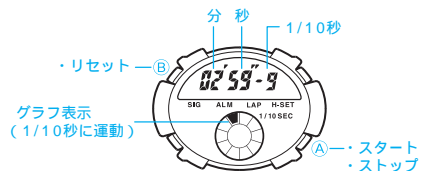
⑤ ボタンを押します

点滅が止まります。

### 計測のしかた

① ボタンを押すごとに計測がスタート / ストップします。

計測がストップしているときに② ボタンを押すとリセットされ、計測前の表示に戻ります。



### 残り時間が0になると

タイムアップとなり、10秒間電子音が鳴ります。

### 鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときにいずれかのボタンを押します。

点滅表示のまま約2分間ボタン操作を行わないと、自動的に点滅が止まります。

タイマーモードのまま約2分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。